



パパママつくって！こどもレシピ大研究  
石倉ヒロユキ…著  
手作りせんべい、もちもち皮の水ぎょうざなど、子ども向けのやさしくおもしろいレシピと、教えておきたい食と料理の情報を紹介。食材の姿、道具の安全な扱いなども楽しく学ぶことができます。

今月の月末図書整理日（お休み）は、  
11月30日（火）です。  
■貸し出し・問い合わせ先  
瀬戸内市立図書館 ☎0869-22-3761  
長船町公民館図書室 ☎0869-26-2501  
牛窓町公民館図書室 ☎0869-34-5663  
HP <http://lib.city.setouchi.lg.jp/>



## 秋のタベ パンフルート 癒しコンサートを開催します

パンフルートは、ギリシャ神話に名前の由来を持つとされる最古の楽器といわれています。葦、竹、木などで作られるのが一般的で、南米のサンポーニャという楽器も同じ仲間です。空のビール瓶を鳴らすように唇を長管に当てて吹き鳴らすという、シンプルな演奏方法ですが、そこから響く音は、横笛、リコーダー、オカリナなどとは一味違い、神秘的、癒しの音色を持っています。

profile  
今井勉 Imai Tsutomu

パンフルート製作・演奏家・カメラガイド。昭和39年生まれ。岡山市在住。病気のためサラリーマンから失職。人生の進むべき道を模索する中で、パンフルートに出会う。それ以来パンフルートの製作・演奏・指導を精力的に展開。CDの制作をきっかけに全国放送に出演し、その後各地から演奏・講演の依頼が来るようになる。トークや歌も好評を得ている。



パンフルートを演奏する今井さん

また、邑久高校3年生吹奏楽部の田中希美さんのピアノ演奏とのコラボレーションもあります。

ご家族お揃いで、また友人を誘って、お越しください。  
▽日時 11月13日（土）  
午後6時30分～午後8時  
（午後6時開場）  
▽会場 中央公民館ホール  
▽入場料 無料  
■問い合わせ先  
中央公民館

### 追加された出前講座メニュー

No.	講座内容	グループ名
1	歌詞を見ながらの合唱	歌う会夕焼け小焼け
2	地域で日本舞踊を披露	日本舞踊
3	納豆作り	納豆を作る会
4	カラオケの慰問	瀬戸内市邑久町カラオケ同好会

メニューを追加しました  
公民館出前講座  
出前講座に左表のメニューを追加しました。興味がある人は中央公民館までご連絡ください。  
■問い合わせ先  
中央公民館

### Books



俵万智の子育て歌集 たんぽぽの日々  
俵万智…著 市橋織江…写真

サラダ記念日から20年。歌人の俵万智さん初の子育てをテーマにした短歌プラスエッセイ集です。自分の手の中から外の世界へ旅立ってゆく息子、それを送り出す日が来ることを知っている母親の切なくも誇り高い気持ちがわずか31文字に凝縮されています。



巻の七十

## リニューアルオープン 寒風陶芸会館資料展示室

寒風陶芸会館は、寒風陶芸の里（牛窓町長浜）の中心地にある陶芸の体験・展示施設です。館内では土ひねりや絵付けなどが楽しめる陶芸教室があり、陶芸家になったつもりで湯飲み、花入れ、茶碗などオリジナル作品作りにチャレンジすることができます。また、備前焼用の登り窯（貸し出し可）や作品の発表の場として利用できる貸しスペースもあります。

### 新しくなった 資料展示室

資料展示室は、寒風陶芸会



リニューアルされた展示室内

館に隣接してある国指定の史跡、寒風古窯跡群について分かりやすく学ぶことができるガイドンス室としてリニューアルされました。寒風古窯跡群は、7世紀の飛鳥時代を中心に約百年にわ

たって須恵器を焼いた窯が築かれ、都に税として納められた須恵器の生産地として広く知られています。史跡内には、須恵器を焼いた集団のまとめ役と考えられる人物の古墳や須恵器作りに関わる工房の建物跡などが見つかっています。

展示室では、寒風古窯跡群の紹介と備前焼のルーツといわれる須恵器について分かりやすく8つのQ&A方式で解説パネルを設置しています。

例えば、「どうして寒風古窯跡群ができたの？」という質問に対して「土、薪、そして須恵器を運び出す道があったから」と答え、さらに詳しい解説を加えています。展示資料の中には、白い器の表面に緑色の自然釉が流れた大甕が設置され、寒風古窯跡群で焼かれた須恵器の特徴



自然釉が流れた大甕

を良く示しています。また、古代の硯「円面硯」や文字がへら書きされた「線刻須恵器」、陶製の棺桶である「陶棺」、寺院の屋根にのせる「鴟尾」など寒風古窯跡群で出土した珍しい須恵器も展示しています。

### 体験コーナーが完成

展示室のフロアに新たに体験コーナーを設けました。ここでは、弥生土器、須恵器、備前焼のかげらに実際に触れて、それぞれの違いを確かめるブースがあります。また、甕を作るとき「当て具」といわれる道具を使って、

粘土の中の空気を出すとともに内面に模様を残していましたが、この当て具の模型を粘土に押し当て、同心円などの模様ができる様子を学ぶブースもあります。こうした体験を通して焼き物への理解を深めることができます。

### 陶芸の里の 今を情報発信

陶芸の里で制作活動に励む作家を紹介するコーナーも新たにできました。陶芸の里の作家の作品を一室に展示しており、あなたのお気に入りの作家が見つかるかもしれません。

また、寒風の地が陶芸文化の拠点であることをあらためて確かめることができます。寒風陶芸会館の新たな魅力を生み出す展示室です。土ひねりや絵付けと合わせてお立ち寄りください。  
■問い合わせ先  
寒風陶芸会館  
☎0869-345680